

研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

単眼視映像からのAIリアルタイム立体視映像生成技術を用いた脳神経解剖における3D医学教育の有用性に関する研究

1. 研究の対象および研究対象期間

研究期間:2024年5月~2026年3月

研究対象および期間:

対象者:昭和大学脳神経外科専攻医1年生または2年生、昭和大学医学部M4以上の学生

対象期間:2024年5月~2025年12月

2. 研究目的・方法

<研究目的>

AIを用いたリアルタイム立体映像変換技術による、脳神経解剖の3D医学教育における有用性を評価します。

<方法>

脳神経外科解剖における3D医学教育効果を調査します。

対象:昭和大学医学部脳神経外科講座所属専攻医および昭和大学医学部学生

対象期間:2024年5月1日~2025年12月31日

方法:講義およびトレーニングにおいて、以下の3つのグループに分けて実施した脳神経解剖に関するテストのスコアを後方視的に用いる。

- 1)本研究開発システムを用いた学習
- 2)2次元映像を用いた学習
- 3)従来テキストを用いた学習

脳神経解剖についてペーパーテストと口頭試問を行った情報を使用して、各学習方法の得点の平均値を求め、3種類の学習法間の比較をt-検定(対応なし)を用いて得点の平均値の差の検討により統計的に評価を行います。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2026 年 3 月 31 日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢，性別，ペーパーテストおよび口頭試問のスコア

5. 外部への試料・情報の提供

該当しません。

6. 研究組織

研究責任者 昭和大学脳機能解析・デジタル医学研究所 所長 佐藤 洋輔

研究分担者 昭和大学脳機能解析・デジタル医学研究所 講師 高橋 純一郎

昭和大学脳機能解析・デジタル医学研究所 助教 田中 宏祐

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学脳機能解析・デジタル医学研究所 氏名：田中 宏祐

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：0337848639